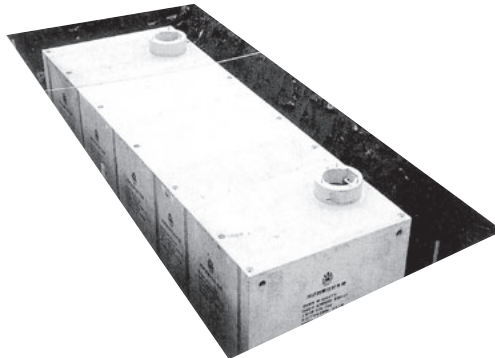


# 二次製品防火水槽・二次製品耐震性貯水槽

## 二次製品防火水槽・二次製品耐震性貯水槽の特徴

- ◎ずば抜けた耐震性  
震度法(水平震度0.288、鉛直震度0.144)により耐震設計された製品です。
- ◎完璧な止水  
各製品のジョイント部は止水材、ポリウレタン系シーリング材により、漏水を完全にシャットアウト。
- ◎認定工場で一貫生産  
(一財)日本消防設備安全センターが定めた厳しい規定・基準に合格した認定製品です。
- ◎組み立ての簡易性  
各製品の接合部はPC鋼棒、高力ボルトにより一体化されていますので、組み立てはスムーズです。
- ◎工期短縮  
すべてが工場製品ですから、工期は大幅に短縮されます。

## 製品写真

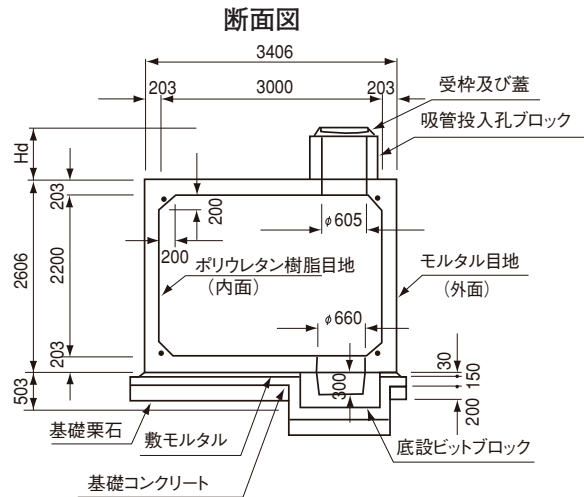
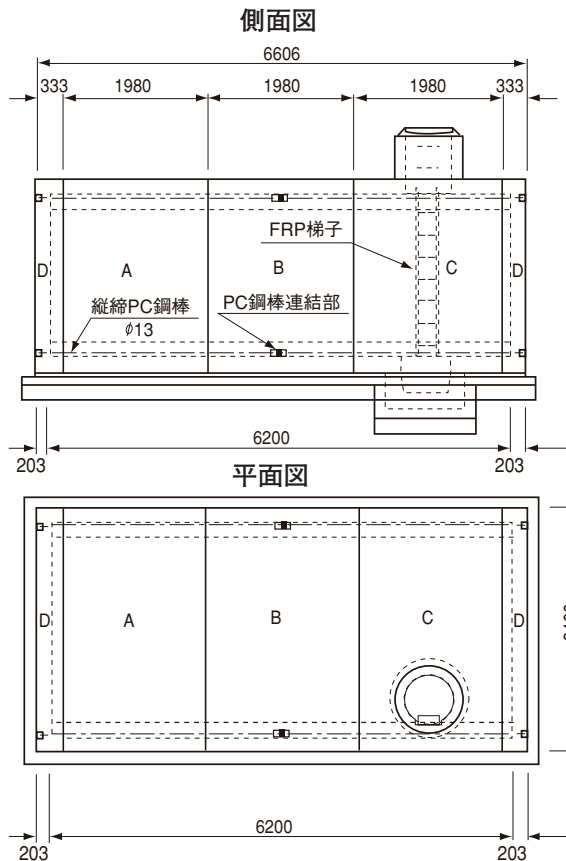


## 防火水槽・貯水槽

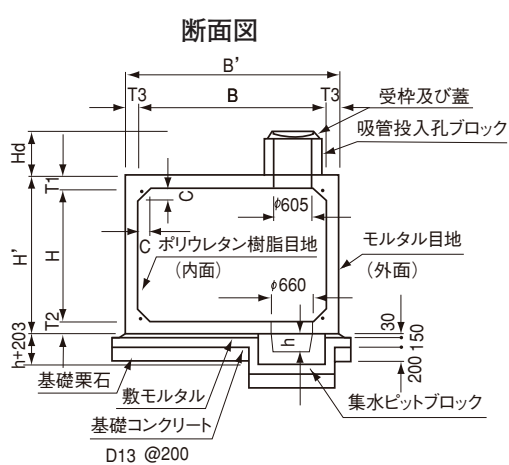
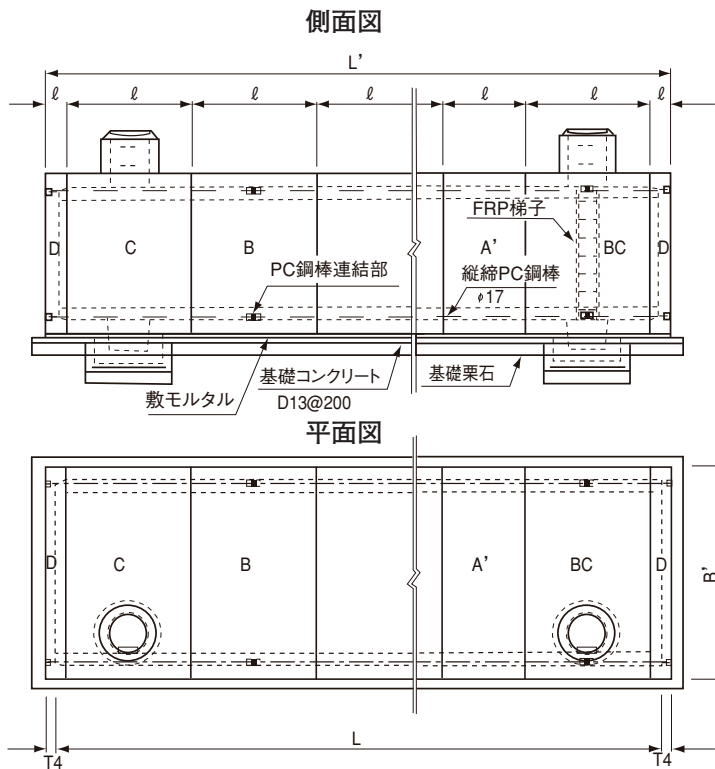
形状	容量(m <sup>3</sup> )	土被り(m)	I 型	II 型	III 型
			空地用 公園、宅地等自動車が入る 恐れのない場所の地下に設ける もの	T-20 道路用 I 型以外の場所の地下に設ける もので総重量196.13KN [20tf] の自動車荷重が載荷されるもの	T-25 道路用 I 型以外の場所の地下に設ける もので総重量245.17KN [25tf] の自動車荷重が載荷されるもの
角型防火水槽	40	0.0~1.0	防-84099号 ASH-322-I 型P-1.0		
		0.0~1.5	防-84100号 ASH-322-I 型P-1.5	防-84100号 ASH-322-II 型P-1.5	
		0.6~1.3			防-84100号 ASH-322-III 型P-0.6/1.3
		0.1~1.0	防-84100-1号 ASH-322-I 型N-0.1/1.0	防-84100-1号 ASH-322-II 型N-0.1/1.0	
		0.4~1.0			防-84100-1号 ASH-322-III 型N-0.4/1.0
角型貯水槽	40	0.0~1.0	耐-00010号 ASH322C-I 型P-1.0		
		0.0~1.5		耐-00011号 ASH322C-II 型P-1.5	
		0.1~1.0	耐-00011-1号 ASH322C-I 型N-0.1/1.0	耐-00011-1号 ASH322C-II 型N-0.1/1.0	
		0.4~1.0			耐-00011-1号 ASH322C-III 型N-0.4/1.0
		0.1~1.5			耐-00011号 ASH322C-III 型P-1.5
	60~100	0.1~1.0	耐-96017-1号 ASH322C-I 型N-0.1/1.0	耐-96017-1号 ASH322C-II 型N-0.1/1.0	
		0.4~1.0			耐-96017-1号 ASH322C-III 型N-0.4/1.0

※ご検討物件がございましたら、下見を致しますので、ご連絡をお願いします。

二次製品防火水槽・貯水槽 (40<sup>m</sup>型) 構造図

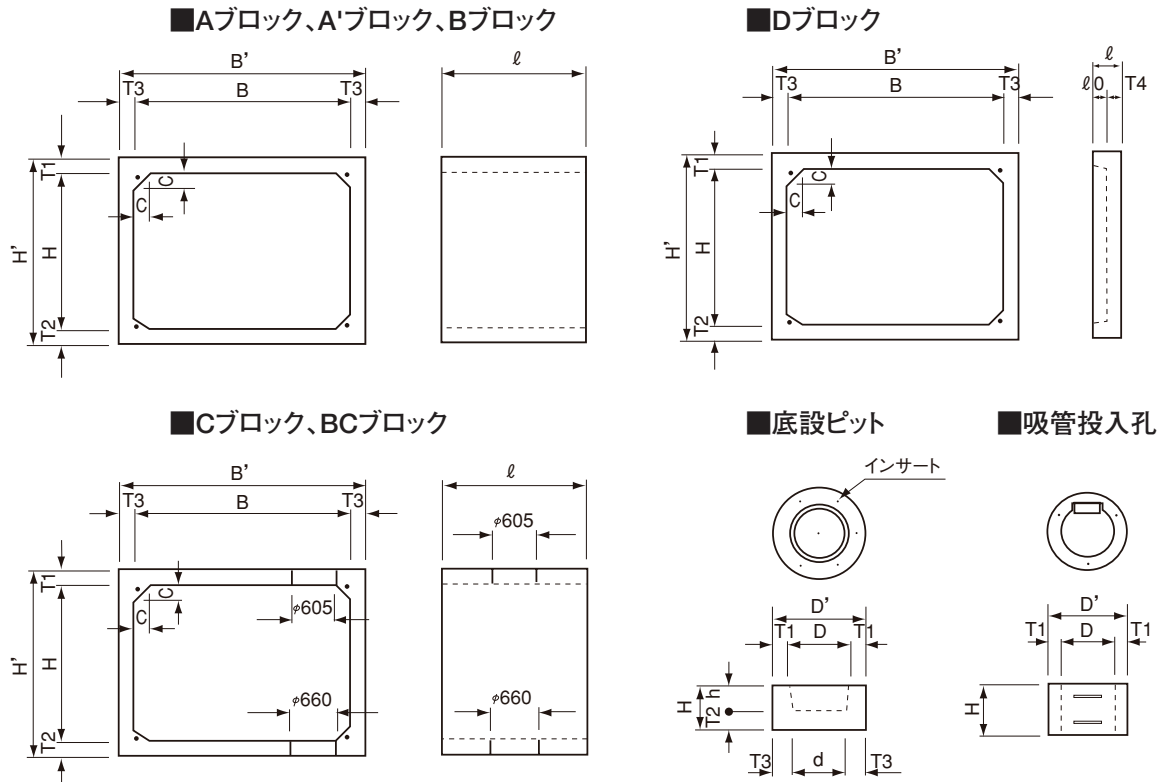


二次製品耐震性貯水槽 (60<sup>m</sup>型・100<sup>m</sup>型) 構造図



製品図

I型・II型・III型共通



各ブロックの寸法及び参考質量

ブロック	寸法(mm)											参考質量(kg)
	B	H	B'	H'	T1	T2	T3	T4	C	ℓ	ℓ <sub>o</sub>	
Aブロック・Bブロック	3000	2200	3406	2606	203	203	203	—	200	1980	—	11663
CブロックBCブロック	3000	2200	3406	2606	203	203	203	—	200	1980	—	11333
※A'ブロック	3000	2200	3406	2606	203	203	203	—	200	1320	—	7775
Dブロック	3000	2200	3406	2606	203	203	203	203	200	333	130	5288

ブロック		寸法(mm)								参考質量(kg)
		D	H	D'	d	T1	T2	T3	h	
底設ピット (集水ピット)	h=300	660	503	1066	605	203	203	230.5	300	888
	※h=100	660	303	1066	605	203	203	230.5	100	598
吸管投入孔	H=290	605	290	905	—	150	—	—	—	243
	H=590	605	590	905	—	150	—	—	—	495

注1) ピットの名称は、二次製品防火水槽では底設ピット、二次製品耐震性貯水槽では集水ピットと呼びます。

- 2) 吸管投入孔の高さは任意に設定できます。
- 3) ※印のブロックは、二次製品防火水槽には使用しません。
- 4) I型、II型およびIII型ではそれぞれ配筋が異なります。